

すぎのこつうしん

平成 27 年 12 月号
古川東町カトリック保育園

「与え合う心が育つ」

今年も年末を迎えました。12月にはクリスマスの月です。街の中はキラキラしたイルミネーションやツリー、リース、サンタクロース、トナカイ等々がきれいに飾られ、聖歌が流れるとなんとなくウキウキしてくる季節です。日本人はキリスト教の信者ではなくてもクリスマスに特別な感情を持っているようです。ハロウィンもお祭りのようにしてしまうのですから日本人はお祭りが大好きな国民なのでしょう。お祭り好きでも、クリスマスの意味を知っていて楽しんでもらいたいと思います。クリスマスはイエスキリストがお生まれになった日です。イエス様の誕生をお祝いする日です。保育園では一足先にクリスマス祝い会を行います。

その祝い会に向けて子どもたちは一生懸命練習をしています。聖誕劇では毎年見ていて自分がやりたいと思う役を選び台詞や動きを覚えます。遊戯や合奏等、最初は難しかった事も何度も繰り返していくうちに成果が表れてきます。うまく出来ればいいというのではなく、努力する、諦めずにやろうとするプロセスが大切だと思っています。出来ない諦めたり、もう出来るからと練習しないではなく、何度も練習する姿が素敵なのです。ご家庭でも頑張っている子ども達をたくさん励まし見守って下さい。子ども達の一生懸命な姿こそ私たち大人への最高のクリスマスプレゼントだと思います。

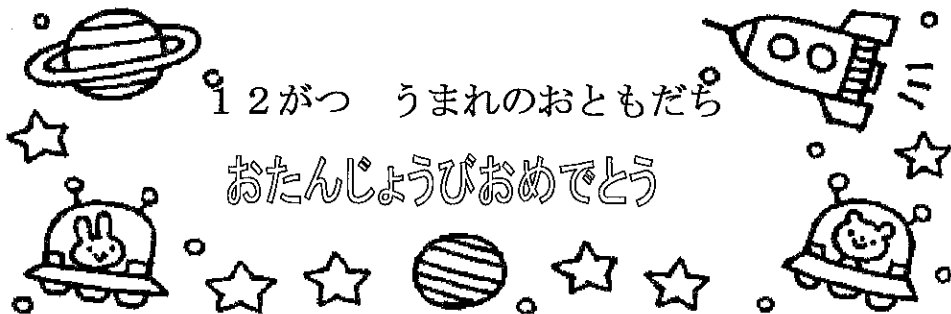
そして子どもへのプレゼントは大人からのたくさんの愛なのでしょう！

<園長 平野義子>



行事予定

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 03日(金) 誕生会 | 22日(火) 大崎ホーム訪問 |
| 11日(金) クリスマス祝い会総練習 | 25日(金) クリスマス礼拝 |
| 12日(土) 杉の子役員会 | 28日(月) 保育納め |
| 18日(金) クリスマス祝い会 | ?日 避難訓練 |
| ※ 12月29日(火) ~1月3日(日) 年末休み ※ | |
| 1月04日(月) 保育始め | |
| 08日(金) 破牙神ライザー龍と餅つき大会 | |



12がつ うまれのおともだち

おたんじょうびおめでとう



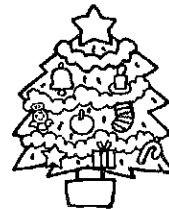
今月のうた

♪ ジングルベル ♪

- はしれそりよ かぜのように ゆきのなかを かるくはしる
わらいこえを ゆきにまけば あかるいひかりの はなになるよ
※ジングルベル ジングルベル すずがなる すずの リズムに ひかりのわがまう
ジングルベル ジングルベル すずがなる もりにはやしに ひびきながら
- はしれそりよ おかのうえは ゆきもしろく かぜもしろく
うたうこえは とんでいくよ かかやきはじめた ほしのそらへ
※繰り返し

♪ あめのみつかい ♪

- あめのみつかいの うたごえびびく ほしかげさやかな まきばのそらに
※グロリア インエクシエルシス デオ
- まずしいうまの めぐみのみこに ほめうたささげて よろこびうたう
※繰り返し
- やさしいおさなご すくいのみこよ みくにをのぞみて みまえにのる
※繰り返し



おとうさん、おかあさんから

保育園生活も残り4か月となりました。

ハイハイしていた〇〇、今では活発でサッカーが大好きな優しいお兄さんになりました。毎日の出来事を話、悔し涙やたくさん笑顔、そして保育園から一番『砂』を持ち帰ってきました。カトリック保育園で学んだ4つの心、お友達、先生との思い出を大切に残りの保育園生活を楽しく過ごしてもらいたいです。先生達、泣き虫の〇〇を温かく見守っていただきありがとうございました。

< ひつじ組 〇〇 〇〇くんのお母さん >

ひよこ組からお世話になりました。友達からカトリック保育園を勤めていただき入園しましたが、アットホームで温かい先生方に囲まれ、心配ごとが色々あった時も相談にのってもらいなど、親子で大変お世話になりました。

残り数か月となりましたが今後もよろしくお願いします。

< ひつじ組 〇〇 〇〇くんのお母さん >





ばんび組 (0歳児)

- <ねらい>・生活や遊びの中で「どうぞ」と差し出そうとする。
- ・気候の変化や健康状態に気をつけながら冬を元気に過ごす。
- <家庭連携>・「かしてね」と声を掛けた時に「どうぞ」と貸すことができるよう、家庭でも少しずつ知らせていきましょう。
- ・感染症にかからないように手洗いなどの予防を行い、冬を元気に過ごせるよう連携をとっていきましょう。

ひよこ組 (1歳児)

- <ねらい>・与えられた心地良さを知り、譲り合おうとする。
- ・冬の自然に触れながら戸外で体を動かして遊ぶ。
- <家庭連携>・生活や遊びの中で与え合うことや譲り合うことの大切さを知らせましょう。
- ・寒くなってきたので手袋や帽子の用意をお願いします。また、大きく名前を記入して下さい。

ことり組 (2歳児)

- <ねらい>・分け合うことの気持ち良さを知り、与え合おうとする。
- ・リズム遊びや踊ることを通して表現することを楽しむ。
- <家庭連携>・生活の中で分け合う機会を作り、分け合うことの気持ち良さを感じられるようにしていきます。
- ・子ども達が自由に表現する姿を褒め、表現する楽しさを味わえるようにしましょう。

こねこ組 (3歳児)

- <ねらい>・分け合う、譲り合う経験を通し、思いやりの心が育つ。
- ・クリスマス祝い会を通し、体で表現することを楽しむ。
- <家庭連携>・家庭内でも様々なものを分け合って食べたり、譲り合って使い、その心地良さや大切さを感じられるようにしましょう。
- ・クリスマス祝い会の練習について話を聞き、頑張っている姿を褒めたり、楽しみにしている気持ちを伝えましょう。

うさぎ組 (4歳児)

- <ねらい>・人との関わりの中で譲り合い、与え合う心が育つ。
- ・表現する喜びや感動の共有を楽しむ。
- <家庭連携>・友達との関わりの中で気持ち良く譲ったり与えられるよう働き掛けていきましょう。
- ・子ども達の頑張っている姿を褒め、クリスマス祝い会に向け期待を持って取り組めるよう励ましていきましょう。

ひつじ組 (5歳児)

- <ねらい>・周りの人と与え合う思いやりの心が育つ。
- ・一つの目的に向かい協力して成し遂げる大切さや充実感を味わう。
- <家庭連携>・周囲の人々に目を向けることで相手の気持ちに気づき、優しく接したり与え合うことを知らせていきましょう。
- ・子どもたちの頑張りを口に出して褒めたり認めてあげることで充実感を味わい自信がつくようにしていきましょう。

☆ 給食室から ☆

保育園の給食で人気のおかわりは“おかゆ”で、いつも大行列になります。うどんどんぶりに一杯だけなのでいつも「ちょっとずつになるけど、みんなでわけようね」と言うと快く「いいよ!!」と応えてくれます。

おかわりだけでなく沢山の場面で分け与える心が育っていると思います。家庭でそのような機会があると思います。その気持ちを大切にいきましょう。

「与え合う心が育つ」

もうすぐクリスマスですね。子どもたちがクリスマスで一番楽しみにしているのはサンタさんから貰うプレゼントですよね。私の2歳の娘も先日、一足早く祖母からクリスマスツリーをプレゼントしてもらいました。暗い部屋で初めて見るツリーの光に「きれいねー」、「ばあば、ありがとねー」、「ばあばと見たいねー」などと笑いながらおしゃべりしていました。

プレゼントは本来モノを贈り合うという意味だけではなく、同じ時間を共有したり、分け与えるという意味があるそうです。

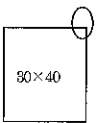
会話から喜びや感謝の気持ちを子どもなりに共有し分け与えようという心の成長が見られ、とても嬉しく思いました。本来のプレゼントの意味を十分に心にとめ大切な人と過ごすクリスマス、楽しい時間を分かち合いたいですね。

< 調理員 高橋明菜 >



おしらせ

- ★ ばんびくみ担任の 佐々木和江保育士 が11月30日で退職します
- ★ ボックスティッシュ・ビニール袋 (全クラスビニール袋30×40cm位) を集めます
- ★ 募金活動を行います。詳しくは後日お伝えいたします。ご協力をお願い致します
- ★ 年末年始中の緊急連絡は携帯電話におねがいします。事故や怪我をしないよう過ごしましょう!



あなたの一分間拝借！

2015年12月1日

12月の人間性教育目標、それはクリスマス精神に基づき、「与え合う心の育成に励む」ことです。

「与え合うこと」、それは愛の仕業（しわざ）であり、神の御前に最高の価値ある人間的行為と云われています。人間の価値が決まる尺度ともいわれる程大切な行為であります。

過日、朝日新聞でバングラデッシュの留学生が栄養失調で倒れ、救急車でたらいまわしされやっと受け入れてくれた病院での治療にも拘わらず手遅れの為、力尽きたことを知り、残念な気持ちで一杯になったことを思い出します。「与え合う心」の実践が行われるよう気配りがご近所或いは仲間にあつたら、救いの手を差し伸べてあげられたのと思うと「日本の豊かさ」と言われている中での出来事だけに本当の「豊かさ」とは何だろうかと考えさせられた次第です。

また、ある後進国の飢えた子どもの写真に次のような添え書きがかかれていたことも忘れられない思い出として心の奥に刻まれています。「私たちは、学校も水道もガスも水洗便所もラジオもテレビも靴も時計も車も持っていない……。あなた方はこれらをすべて持っているが、それでも不平を言っている……。」

考えさせられる言葉ではないでしょうか？

イエスの言葉が聖書マタイ伝第10章42節に書かれています。

「はっきり言っておく。私の弟子だという理由で、この小さな者の一人に、冷たい水一杯でも飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける。」と。

熟読玩味に値する言葉だと思います。「なんだ、水一杯くらい」と単純に考えがちですが、この「水一杯」の重さと尊さに気付いたのはつい最近のことでした。それは中東アジアイスラエルを訪問した時です。イエスの国は緑が少なく、砂漠の多い地域で、しかも亜熱帯的気候で夜は寒く日中は猛暑であり、私たちの国のように緑豊かで水に恵まれたことを考えると「一杯の水」は貴重な存在であることに目覚めさせられた次第です。

2000年前の世界と現在を比較すれば、この水の価値は今の世の「一杯の水」とは天地の相違があるといっても過言ではないでしょう。大きな優れた愛の仕業が求められているのです。

聖書で言われている「いと小さき人々にした愛は、すべて私にしたことだ」というイエスの呼び掛けに、心を込めて応える12月の日々でありますように祈念いたします。

マタイによる福音書第25章31節より46節を心の糧としてお読みいただければ自己精進の力となるでしょう。

クリスマス、それは与え合う心を分かち合うところに再現します。イエスは神の子として最高の限りない愛の豊かさを備えられた御方ですが貧しき家畜小屋に、しかも幼子としてお生まれになりながら私たちに真の豊かさが「与え合う心」の実践にこそ秘められていることを啓示してくださいました。

与えること、それは金品だけではありません。あなたの笑顔（えがお）大事な時間、他者の心の痛みや悲しみを共有する思いやり等々を側隠の情をもって捧げる自己犠牲、無償の仕業を指していることに心の目を向けて12月の教育目標に力を尽くしましょう。

神は、私たちが何を与えたかについては重要視しません。

評価するもの、それはいつ？どのように？何のために？誰に？を大切にします。

心して子ども達の心に大人の模範を示すことが生涯課題です。間違いは、自己中心・自己満足・虚栄心等々から生じること明々白々です。気をつけましょう。

あなたが施しをするときは、右の手のすることを

左手に知らせてはならない！（マタイ6の3）

カトリック古川教会
司祭 川井 啓

